

投資情報ウィークリー

2016年9月12日号
調査情報部

今週の見通し

先週の東京市場は戻り一服で、もみ合いの展開となった。弱めの米経済指標の発表が相次ぎ、米長期債利回りが低下したこと、為替は円高ドル安となり、日経平均は上値を抑えられた。ただ、日銀のETF買い観測が下支えとなり、下値は限定的だった。全般に材料難で薄商いとなる中、8日には任天堂がアップル端末への新タイトル配信を材料に再び大商いとなった。なお、9月メジャーSQ値は17011.77円だった。米国市場は追加利上げ観測がやや後退したもの、一進一退の展開となった。為替市場でドル円は、米長期債利回りの上昇を受けて、約1か月ぶりに1ドル104円台半ばまで円安ドル高が進んでいたが、弱めの経済指標を受けて、再び101円台前半まで円が買われた。ユーロ円は1ユーロ115円台を挟んでもみ合いとなった。

今週の東京市場は、強含みもみ合いとなろう。米経済指標の発表を受けた為替市場動向に左右されやすいものの、日米の金融政策会合を来週に控えて、政策期待が徐々に高まろう。物色は週後半に行われる東京ゲームショウの関連銘柄や、9月中間決算を控えて、業績進捗率の高い銘柄などに関心が集まろう。米国市場は経済指標をにらみつつ、金利・為替動向次第の神経質な動きとなろう。利上げ観測が後退するようなら、NYダウは再び最高値をうかがう動きとなろう。為替市場は、債券市場の動きをにらみつつ、レンジ相場となろう。ドル円は1ドル101円～105円、ユーロ円は1ユーロ113円～117円の動きとなろう。

今週、国内では12日(月)に7月の機械受注、13日(火)に7-9月期の法人企業景気予測調査が発表されるほか、15日(木)に民進党代表選が行われる。また、15日から18日(日)まで「東京ゲームショウ2016」が開催される。一方、海外では13日(火)に8月の中国鉱工業生産、小売売上高、15日に8月の米小売売上高、鉱工業生産、16日(金)に8月の米消費者物価が発表されるほか、13日に国連総会が開幕する。また、18日にロシア下院選挙が行われる。

テクニカル面で日経平均は、一時200日線(16983円:9日現在)を今年初めて上回った。52週線(17246円:同)や5月31日高値(17251円)も視野に捉えてきている。また、週足一目均衡表では抵抗帯の雲領域に突入し、抵抗帯上限(17910円:同)を目指す可能性が出てきた。4月25日高値(17613円)を抜けば、2月12日安値(14865円)と6月24日安値(14864円)のダブルボトムが完成する。一方、下値は8月31日に空けた窓(16752円)や25日線(16737円:同)、26週線(16428円:同)などがめどとなろう。(大谷 正之)



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

9/9 15:12



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

☆中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な業績堅調銘柄群

3月期決算企業の第1四半期決算発表が出揃った。為替の円高から厳しい決算となった企業が多い反面、中間期見直しに対する第1四半期実績の進捗率が高水準となっている銘柄も存在している。9月後半以降、中間期見直しを上方修正してくる可能性が高いと見られる企業も散見され、注目したい。(野坂 晃一)

表. 中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な業績堅調銘柄群

コード 銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	予想利回り (%)	進捗率(%) (1Q÷中間 期予想)	今中間期予 想営業利益 伸率(%)	今期予想営 業利益伸率 (%)	13週乖離率 (%)	26週乖離率 (%)
4502 武田	4708	41.7	2.03	3.82	152.9	-9.5	3.2	4.73	-1.37
4516 日新薬	4910	38.9	3.16	0.71	138.3	51.7	34.5	-5.47	-3.48
6641 日新電	1621	17.3	2.28	1.35	101.9	28.9	20.7	3.97	13.97
7267 ホンダ	3169	14.6	0.87	2.77	95.3	-30.7	19.2	11.00	8.39
4506 大日本住友	1753	27.8	1.63	1.02	91.0	-5.0	8.3	-2.75	7.64
5706 三井金	219	31.2	0.78	2.73	87.7	45.4	88.6	12.71	13.82
4974 タカラバイオ	1595	147.6	3.25	0.11	86.4	8.8	1.2	11.49	11.11
4523 エーザイ	6410	62.7	3.35	2.34	83.3	71.5	3.4	7.52	0.84
1333 マルハニチロ	2551	14.9	1.59	1.17	80.4	30.7	6.1	-2.34	1.16
1893 五洋建	552	13.7	1.88	1.63	75.8	16.0	4.3	-0.89	3.75
7832 パンナムHD	2991	18.7	2.06	0.80	73.2	2.7	0.7	9.46	14.33
2607 不二製油G	2044	17.5	1.23	1.76	72.5	4.1	3.9	0.87	1.81
4021 日産化	3155	20.9	3.14	1.58	71.5	-6.8	3.8	1.29	3.53
9766 コナミHD	3835	34.5	2.42	0.88	69.9	4.5	1.3	-1.53	2.69
8086 ニプロ	1309	12.2	1.47	3.09	69.1	15.0	24.8	2.70	8.99
2270 雪印メグ	3370	24.0	1.73	0.89	68.9	0.1	7.1	-0.58	6.41
4503 アステラス	1598	17.2	2.85	2.12	67.8	3.3	7.2	-0.68	2.88
7731 ニコン	1507	19.9	1.18	2.12	64.9	58.2	25.3	3.02	-2.51
4694 BML	2600	20.0	1.74	1.34	63.7	3.5	3.2	6.36	8.98
2264 森永乳	697	21.0	1.31	1.00	63.4	13.7	14.5	-1.44	4.95
9432 NTT	4750	12.9	1.12	2.52	63.3	5.0	6.1	0.33	-0.87
4528 小野薬	2721	25.8	3.04	1.47	62.7	90.9	137.7	-22.90	-35.56
7242 KYB	442	12.2	0.78	2.48	62.0	-	218.9	17.61	21.49
9005 東急	811	16.3	1.69	1.10	61.9	-18.4	2.0	-1.69	-8.23
2181 テンプHD	1717	20.0	3.07	0.81	61.7	12.8	13.0	2.36	3.02
8515 アイフル	333	23.6	1.53	-	61.3	-44.3	4.9	5.27	-3.70
4042 東ソー	627	8.6	1.19	2.39	60.6	-9.8	3.7	15.36	19.81
1942 関電工	935	13.4	0.99	1.71	59.9	87.0	34.0	5.63	10.15
1820 西松建	478	11.0	0.89	2.71	59.9	-21.5	2.0	0.42	0.92
9684 スクエニHD	3095	18.4	2.26	1.32	59.7	19.2	15.3	-2.49	-1.44
8830 住友不	2825	13.8	1.48	0.81	59.3	13.3	2.2	4.47	-3.25
7994 岡村製	964	10.8	0.99	2.48	59.2	4.9	8.0	-3.20	-6.29
8802 豊地所	1964.5	31.7	1.82	0.81	59.2	7.5	5.3	2.86	-2.04
2413 エムスリー	3200	72.4	19.20	0.31	59.1	14.7	14.9	-3.85	0.73
3092 スタートゥ	5030	34.2	28.95	1.23	59.0	21.3	24.7	0.98	2.36
7988 ニフコ	5450	16.7	2.37	1.92	58.1	-8.4	0.1	1.30	1.35
7575 日本ライフ	4695	18.9	5.24	0.74	58.1	128.4	85.6	8.29	33.61
4183 三井化学	478	10.8	1.27	1.88	58.0	6.2	12.8	13.62	20.10
7251 ケーヒン	1658	8.3	0.81	2.41	57.2	-0.1	52.1	4.27	1.69
6367 ダイキン	9583	19.9	2.99	1.25	56.9	0.6	1.0	8.01	8.67
8848 レオパレス	695	9.8	1.27	3.16	56.5	-3.9	7.2	-1.40	0.18
2875 東洋水	4405	21.9	1.79	1.36	56.3	2.3	2.4	4.05	6.13
6758 ソニー	3437	54.2	1.80	0.58	56.2	-45.9	2.0	7.96	12.91
3941 レンゴー	632	10.7	0.73	1.89	56.1	114.3	52.6	-1.34	1.52
8572 アコム	509	13.6	2.35	-	56.0	-10.6	317.6	3.75	-4.91
4922 コーセー	10240	27.9	3.95	0.91	55.6	1.4	3.9	10.70	6.39
8806 ダイビル	968	18.8	0.79	1.65	55.4	12.5	9.7	4.58	1.86
3088 マツキヨHD	5030	14.4	1.53	1.78	55.2	0.9	2.1	4.65	-4.35
8078 阪和興	595	9.3	0.80	3.02	55.0	10.2	15.5	6.13	10.65

*指標は9/7時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見直しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

東レ(3402・東 1)

17/3期第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比3.8%減の4781億円、営業利益が同10.7%増の410億円。主力の繊維事業は衣料用途が内外ともに低調だったものの、自動車関連向けは海外で堅調だった。プラスチック・ケミカルでは日米で自動車向けが好調だったほか、情報通信材料ではスマホ関連の有機EL向けやリチウムイオン電池向けセパレータが伸びた。炭素繊維複合材料は風力発電向けが伸びたものの、航空機向けは在庫調整の影響を受けた。環境・エンジニアリングは円高の影響、ライフサイエンスは後発薬の影響を受け、さえなかった。利益面では販売価格の下落や円高の影響を数量増と原燃料安でカバーした。通期見通しは売上高が従来予想比700億円下方修正され、前期比2.6%増の2兆1600億円、営業利益は据え置きで同10.0%増の1700億円。為替前提も従来と同じ1ドル105円。中期経営計画「プロジェクトAP-G 2016」の当初目標(売上高2.3兆円、営業利益1800億円)には届かないものの、繊維、プラスチック・ケミカルは減収増益ながら、それ以外のセグメントは増収増益を計画。(大谷 正之)

株価 973.3円(9/9) 予PER 14.82倍 予想利回り 1.43%



決算期	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	一株益 (円)	配当金 (円)
連 2015. 03	2,010,734	128,572	44.33	11.00
連 2016. 03	2,104,430	150,170	56.38	13.00
連 2017. 03予 (日経予想)	2,160,000	170,000	65.66	14.00

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

日立製作所(6501・東 1)

第1四半期の調整後営業利益は前年同期比21%減の914億円。中国でのエレベーターや建設機械が苦戦した。ただ、コスト削減効果などもあり、円高や事業再編の影響(空調事業と日立物流の非連結化)を除くと前年同期比で11億円の増益だった。通期の見通しはセグメント間の調整はしたものの、期初計画(営業利益5400億円)を据え置いた。事業環境や為替動向など厳しい状況下にあるが、第1四半期と同様に高機能材料やオートモティブの苦戦が続く一方、情報通信や電子装置の好調が続くとみられる。また、構造改革及び原価低減効果も期待されよう。なお、想定為替レートは1ドル110円、1ユーロ120円で据え置いたが、上期105円程度なら十分吸収可能とコメントした(第2四半期決算発表時に見直す予定)。2019年3月期に調整後営業利益率8%超、当期利益4000億円超という目標を掲げるが、市場の成長が見込まれるIoT分野の収益化が鍵となろう。4月に「サービス&プラットフォームビジネスユニット」を発足させ、5月にはOT(Operational Technology)とITを融合したIoTプラットフォーム「ルマーダ」を発表。今年度からの3年間で約1000億円を投じ、同社の強みである総合力で差別化IoT事業で成長を目指す。(増田 克実)

株価 489.9円(9/9) 予PER 11.82倍 予想利回り 2.44%



決算期	売上高 (百万円)	税引前利益 (百万円)	一株益 (円)	配当金 (円)
連 2015. 03	9,774,930	518,994	45.04	12.00
連 2016. 03	10,034,305	517,040	35.65	12.00
連 2017. 03予 (日経予想)	9,000,000	430,000	41.42	12.00

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

「東京ゲームショー 2016」の主な出展企業と出展内容

開催:ビジネスデイ 2016年9月15～16日 一般公開 2016年9月17～18日 会場:幕張メッセ

コード	企業名	市場	出展コーナー	主な出展内容(予定タイトルなど)
6460	セガサミーHD	T1	一般展示・ファミリー	セガゲームスが出展、『龍が如く6 命の詩』、『ペルソナ5』、『蒼き革命のウァルキュリア』など
7832	バンダイナムコHD	T1	一般展示・ファミリー	バンダイナムコエンターテインメントが出展、PSVR対応の『アイドルマスター シンデレラガールズ ビューイングレボリューション』ほか、PS4向け『ドラゴンボール ゼノバース2』、『鉄拳7』、3DS向け『オール仮面ライダー ライダーレボリューション』など、また、子会社のメガハウスがスマホをセットするだけで「没入体験」ができるヘッドフォン一体型VRHMDを出展
9697	カプコン	T1	一般展示・ファミリー	PSVR向け『バイオハザード7』、3DS向け『モンスターハンター ストーリーズ』、スマホ向け『囚われのバルマ』などを出展
3632	グリー	T1	一般展示	最新ゲームの紹介、VR試遊
3635	コーエーテクモHD	T1	一般展示	コーエーテクモゲームスが『仁王』、『戦国無双～真田丸～』、『ベルセルク無双』などPS4向けのほか、現在配信中の『100万人の信長の野望』などを出展
6758	ソニー	T1	一般展示	ソニー・インタラクティブエンタテインメントが出展、プレイステーション(PS)4やPS Vita向け新作タイトルを多数出展、注目のPS VRも登場
9468	カドカワ	T1	一般展示	角川ゲームスが出展、『デモンゲイズ2』、『GOD WARS～時を超えて』など
9684	スクウェア・エニックスHD	T1	一般展示	今年11月発売予定のシリーズ最新作『ファイナルファンタジーXV』を出展、定番の『ドラゴンクエスト』、『キングダムハーツ』なども
9766	コナミHD	T1	一般展示	『ウイニングイレブン2017』、『遊戯王デュエルリンクス』、『東京ザナドゥeX+』など今後発売予定のタイトルを出展
3793	ドリコム	TM	スマホ・ソーシャルゲーム	スマホアプリ『ダービースタリオンマスタース』を出展
3834	朝日ネット	T1	スマホ・ソーシャルゲーム	会場でライブアクション・アンケートアプリを使ったライブアンケートを実施
3932	アカツキ	TM	スマホ・ソーシャルゲーム	青春体感型野球ゲーム『八月のシンデレラナイン』
3639	ボルテージ	T1	ロマンスゲーム	スマホ向け恋愛シミュレーション『ダウト～嘘つきオトコは誰?』、『天下統一恋の乱 Love Ballad』を出展
3907	シリコンスタジオ	TM	インディーゲームコーナー	開発中のゲームエンジン「Xenko(ゼンコー)」を使った、VRと非VRのオプションを含むオリジナルゲームを展示
7752	リコー	T1	VRコーナー	360度カメラ「リコー・シータ」で撮影した360度映像を体感
4763	クリーク・アンド・リバー社	T1	VRコーナー	アイデアレンズ社が開発したVRヘッドマウントディスプレイ『K2』の紹介
2489	アドウェイズ	TM	ビジネスソリューション	スマホ向け広告配信サービス、アプリの効果測定システム
3697	SHIFT	TM	ビジネスソリューション	VRコンテンツQAソリューション、ゲームQAサービスの紹介
6916	アイ・オー・データ機器	T1	ビジネスソリューション	超解像技術「ギガクリア・エンジンII」搭載ディスプレイなど
3930	はてな	TM	クラウド・データセンター	SaaS型サーバー監視サービス「Mackerel(マカレル)」の紹介

出展企業、内容は9月1日時点。東京ゲームショー2016公式サイトより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

<国内スケジュール>

9月12日(月)

- 8月企業物価指数(8:50、日銀)
- 7月機械受注(8:50、内閣府)
- 7月産業機械受注(11:00、産業機械工業会)
- 8月工作機械受注(15:00、日工会)

9月13日(火)

- 7~9月期法人企業景気予測調査(8:50、財務省・内閣府)

9月14日(水)

- 8月首都圏マンション発売(11:00、不動産経研)
- 上場 串カツ田中<3547>、カナミックネットワーク<3939>、デジタルアイデンティティ<6533>マザーズ

9月15日(木)

- 東京ゲームショウ2016(18日まで、千葉・幕張メッセ)
- 民進党代表選

9月16日(金)

- 上場 ノムラシステムコーポレーション<3940>ジャスダック

<国内決算>

9月13日(火)

- 時間未定 はてな<3930>
- <1Q>ツルハHD<3391>
- <3Q>土屋HD<1840>、TASAKI<7968>

9月14日(水)

- 時間未定 <1Q>アスクル<2678>
- <2Q>エニグモ<3665>、サンバイオ<4592>

9月15日(木)

- 時間未定 ウインテスト<6721>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

<海外スケジュール・現地時間>

9月12日(月)

休場 シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、トルコ、パキスタン(犠牲祭)

9月13日(火)

中 8月鉱工業生産・小売売上高・都市部固定資産投資

独 9月ZEW景気期待指数

米 8月財政収支

国連総会が開幕(ニューヨーク)

休場 トルコ、パキスタン(犠牲祭)、インド(謝肉祭)

9月14日(水)

欧 7月ユーロ圏鉱工業生産

米 8月輸出入物価

休場 韓国(中秋節)、トルコ(犠牲祭)

9月15日(木)

米 8月小売売上高

米 8月卸売物価

米 4~6月期経常収支

米 9月NY州製造業景況指数

米 9月フィラデルフィア連銀製造業景況指数

米 8月鉱工業生産・設備稼働率

米 7月企業在庫

米 8月北米半導体製造装置メーカーBBレシオ

休場 中国、韓国、台湾(中秋節)、トルコ(犠牲祭)

9月16日(金)

米 8月消費者物価

米 9月ミシガン大消費者景況感指数

EU非公式首脳会議(ブラチスラバ)

休場 中国、香港、韓国(中秋節)、台湾(特別休日)、マレーシア(マレーシア・デー)、メキシコ(独立記念日)

9月18日(日)

ロシア下院選

<海外決算・現地時間>

9月15日(木)

オラクル

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資にあたっての注意事項

●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大1.2420%（税込）（但し、最低2,700円（税込））の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1取引の約定代金が100万円以下の場合は1取引につき540円（税込）、1取引の約定代金が100万円超の場合は1取引につき1,080円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。「1日定額コース」においては、1日の約定代金300万円ごとに1,620円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1日定額コースは、取引回数（注1）が30回以上の場合、現行の手数料に加えて21,600円（税込）の追加手数料を加算させていただきます。（注2）

注1 取引回数＝約定に至った注文の数

注2 複数市場へのご注文は市場ごとに1回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額（現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額）に対して最大1.2960%（税込）の取次手数料をご負担いただきます。

○非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費等をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の30%以上かつ100万円以上、インターネット取引においては建玉金額の30%以上かつ30万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2016年9月9日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2016年9月9日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。